

日常的な安全指導における 一声（ひとこえ）事例

【安全教育の目標】

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を次のとおり育成することを目指す。



安全教育で
身に付ける力

危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成

生活
安全

交通
安全

災害
安全

安全教育の3領域

【安全教育の推進に向けて】

このシートは「安全教育プログラム（第12集）」（令和2年3月東京都教育委員会）の「必ず指導する基本的事項」に基づき、指導の際に参考となる「一声」をまとめたものです。安全教育の3領域「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」について掲載しています。

近年全国各地で発生している風水害や近い将来起こりうる首都直下地震等の自然災害の状況、交通事故、犯罪等の社会的な情勢の変化など新たな課題も顕在化している状況があります。幼児・児童・生徒の安全対応能力を一層高められるよう休業後の学校再開時においても、上記に示す3領域の安全について日頃から意識し、安全教育に取り組む必要があります。

このシートは、短い時間で確実に指導を実施する際に活用していただくことをねらいとしています。朝の会や帰りの会、避難訓練等の短時間での取組において、「一声」指導を実施し、幼児・児童・生徒の危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成を積極的かつ継続的に推進して下さるようお願いいたします。

危機を予測し、
回避する能力を高める

日常的な安全指導における 一声(ひとこえ)事例

いつでも、どこでも、
安全指導！

短い時間で、確実に安全指導ができる一声事例※を活用して
子供たちの危険を予測し、回避する能力を高めましょう。

【Ⅰ 生活安全】

Check

登下校の安全	1-② 危険を感じたときに、防犯ブザーを鳴らしましょう。	
	1-③ 通学路で、危険な場所があるか、おうちの人と確認しておきましょう。	
校内での安全	1-② きまりを守ることは、自分や友達を守ることです。	
	1-④ 出入り口から人が飛び出してくることがあるから、気を付けましょう。	
家庭生活での安全	3-② 留守番のときの約束をおうちの人と決めておきましょう。	
	3-⑤ 名前や電話番号を聞き出す電話がかかってきたら、「分かりません。」と言って、すぐに電話を切りましょう。	
地域や社会生活での安全	4-③ 知らない大人に誘われても、きちんと断りましょう。	
	4-④ 通学路にある「子供110番の家」を覚えましょう。	
	4-⑥ 何かあったら、すぐに学校に連絡してください。	
携帯電話等使用時の安全	5-④ 面識の無い相手には、安易に個人情報を教えないようにしましょう。	

【Ⅱ 交通安全】

Check

道路の歩行と横断 及び交通機関の利用	1-① 青信号になってからも、車の動きをよく見て渡りましょう。	
	1-③ 一度止まって、右、左、右を見てから渡りましょう。	
	1-③ 黄信号はもうすぐ赤信号の合図です。これからの横断はやめましょう。	
	1-④ 信号が青でも、右左、前方、後方を確認し、停止している自動車の運転手とアイコンタクトをとり、渡りましょう。	
	1-⑤ 傘を振り回すと危ないので、人に向けてないように気を付けて持ちましょう。	
自転車の安全な利用と点検・整備	2-① 交差点では、止まって右左、後ろも忘れずに確認しましょう。	
	2-⑥ 自転車に乗るときに、ヘルメットをしていないと、どんな危険があるでしょうか。	
二輪車・自動車の特性と心得	3-① スピードが出る乗り物に乗るということは、安全確認する時間がそれだけ短くなるということです。	
	3-② 自転車に乗るときはヘルメットをかぶり、車に乗せてもらうときはシートベルトをしめましょう。	
交通事故防止と安全な生活	4-② 交通事故が起こったときの通報は、110番ですか？それとも119番ですか？	

【Ⅲ 災害安全】

Check

火災時の安全	1-① 慌てず速やかに避難できるように、「おかしも」の約束を守りましょう。	
	1-④ 火事を見つけたら、先生を呼びましょう。	
地震災害時の安全	2-① 自分が生活する場所で、ものが「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所はどこか、探しておきましょう。	
	2-② 外で地震が起こった場合、どのように身を守りますか。	
気象災害時の安全	4-⑥ 台風が近づいています。明日の朝まで、テレビの天気予報を注意して見ましょう。	
避難所の役割と貢献	6-② 災害があつて、避難所に行ったとき、小学生でもできることはないでしょうか。	
	6-③ 困っている人を助けましょう。	
災害の備えと安全な生活	7-① 避難訓練は、真剣に参加しなさい。自分の命を守る学習です。	
	7-② 災害で家族と離れ離れになることがあります。どうしたらよいか、家族会議で確認しましょう。	
	7-④ 自分が一人にいるときにけがをしてしまいました。どうしますか。	

◆指導したら、Check しましょう。◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第12集(令和2年3月)」(P.20~P.30)に収録しています。◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！